

(様式第4号)

B E M S 概 要 書

※補助対象BEMSとして、複数のBEMSの登録を希望する場合は、BEMSごとに作成すること。

1. システム概要

BEMS提供事業者の名称	株式会社NTTファシリティーズ			
BEMSの名称	FITBEMS			
想定対象施設	業種	商業施設、自治体、事務所、大学 等	延床面積	1,000平米～10,000平米
	契約電力	50～500 kW	計測点数	～1000 点
URL(※)	http://www.ntt-f.co.jp/service/fm/fit_bems/			

※当該BEMSに関する情報をウェブサイトに掲載している場合に記入

2. システムの特徴 ※200字以内(厳守)でシステムの特徴を端的に説明すること。

最低限の設備投資で、電力使用量の『見える化』『見せる化』や、電力の『自動制御』などをIPネットワークを介してご提供する、高品質なクラウド型の電力管理・自動制御サービスです。

3. システムを構成する主要な機器・設備(標準構成)

No.	機能	名称	メーカー	型番	参考価格(円)
1	主装置	ビル管理ゲートウェイ	NTTファシリティーズ	BACNET-GW	400,000
2	制御機器(空調)	空調Icont	ダイキン工業	DMS502B1 相当品	2,500,000
3	制御機器(照明)	照明Icont	パナソニック	NQX81100 相当品	1,200,000
4	制御機器(照明)	FITLCゲートウェイ	NTTファシリティーズ	LC-GW	350,000
5	制御機器(照明)	FITLC無線親機	NTTファシリティーズ	LC-CONT-M-W	200,000
6	制御機器(照明)	FITLC無線子機	NTTファシリティーズ	LC-CONT-S	10,000
7	制御機器(照明)	FITLC設定器(タブレット)	NTTファシリティーズ	LC-TAB	200,000
8	測定データバックアップ機器	Ecokiteasy	日本コンピューターテクノス	LIVA-C0-2G-32G-W-OS 相当品	200,000
9	プロトコル変換	スマートセーブ	日比谷通商	H-LCU01	198,000
10	NW機器	ルーター	NEC	uM200R 相当品	50,000
11	電力量計	小型電力量計	タケモトデンキ	TWPM 相当品	38,000
12	分割型変流器(CT)	80A	タケモトデンキ	CTL-10-CLS	4,000
13	分割型変流器(CT)	120A	タケモトデンキ	CTL-16-CLS	4,000
14	分割型変流器(CT)	300A	タケモトデンキ	CTL-24-CLS	15,000
15	分割型変流器(CT)	500A	タケモトデンキ	CTL-36-CLS	15,000

4. システムの機能(実装機能について「該当」欄に○を記入)

区分	項番	項目	機能	該当	補足事項		
エネルギーの計測と見える化	○ 1	電力	電力消費量	事業所全体の電力消費量を計測できること。	○	建物全体電力量を集計表示可能、買電、売電、発電、蓄電等表示可能	
	○ 2		主たる電力負荷設備の電力消費量を計測できること。	○	用途別、フロア別、機器別等で表示可能		
	3		発電量・売電量	太陽光発電、燃料電池等の発電設備を有する場合、機器ごとの発電量及び売電量を計測できること。(他社の発電設備である場合等、計測できない場合を除く)	○		
	4		蓄電量・放電量	蓄電設備を有する場合、蓄電量及び放電量を計測できること。(非常用等、計測する必要性がない場合を除く)	○		
	○ 5		計測間隔	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を計測できること。	○	1分間隔から1時間間隔で計測可能(通常5分間隔で設定)	
	○ 6		見える化	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を表示できること。	○	建物全体および個別の電力消費量を表示可能	
	7		電力以外(ガス、重油等)	エネルギー消費量	事業所全体のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	建物全体エネルギー量を集計表示可能
	8			主たるエネルギー(電力除く)負荷設備のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	用途別、フロア別、機器別等で表示可能	
	9			見える化	事業所全体の積算エネルギー(電力除く)消費量を表示できること。	○	建物全体および個別のエネルギー量を集計表示可能
	10		全体	見える化	事業所全体のエネルギー(電力含む)消費量を原油換算値(kl)で表示できること。	○	インターネット経由で端末(PC)表示可能
11	接続機器の制御	ローカル制御(※)	省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。	○	空調機器の運転/停止、設定温度、運転モードなど照明機器のON/OFF、調光、スケジュール制御		
12		遠隔制御(※)	地域電力のひっ迫時等に、事業所から離れた場所から制御できること。(機器直接制御でもデマンド目標値変更による間接制御でも可)	○	インターネット経由で端末(PC)設定・表示可能		
13		発電、蓄電設備(※)	発電、蓄電設備を有する場合、事業所及び事業所から離れた場所から稼働状態を変更できること。				
○	デマンドの管理	デマンド警報	事業所全体の30分積算電力量の目標値の設定ができ、設定された目標値を超える蓋然性が高い場合には、メール等で警報を発することができること。	○			
15		デマンドピークの制御(※)	上記の場合に、電力消費量を自動制御できること。	○			
16		デマンドレスポンス	補助対象BEMS提供事業者が電力会社等から要請を受けた場合、自社のセンターシステムと連携して事業所から離れた場所からも電力使用量を抑制できること。	○	デマンド抑制依頼がされた場合に制御前に事前通知(メール)が可能、接続機器を制御		

(注) 「区分」欄の○印は必須であり、その他は任意である。
「項目」欄の※印のあるものは、制御履歴を保存できるようにすること。